

令和 2 年度市川三郷町第 2 次総合戦略

基本目標・具体的な施策に係る検証結果

本町に誇りをもち、本町のために活躍できる人材育成を進めます。
また、本町の自然環境等を活かして、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を進めます。
結婚・出産・子育てを支援する。

町の独自計算により算出。

年 度	現 状 値 (R2.10 月)	令 和 2	令 和 3	令 和 4	令 和 5	令 和 6	令 和 7	令 和 8
数 値 目 標	1.22	1.30	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	1.35
実 績 値		1.30						
取 組 の 評 価	第 1 次 総 合 戦 略 から 継 続 して 実 施 して 来 て い る 、 出 産 、 子 育 て に 関 す る 支 援 事 業 等 に よ り 、 町 独 自 計 算 で は 目 標 値 を 達 成 す る こ と が 出 来 た 。 ま た 、 厚 労 省 が 公 表 (H 2 5 ～ H 2 9) し て い る 合 計 特 殊 出 生 率 で は 1.36 と 上 回 る 結 果 と な り 事 業 効 果 が 出 て い る と い え る 。							
今 後 の 方 針	毎 年 、 僅 か ず つ で も 出 生 率 が 増 加 傾 向 に な る よ う 、 今 後 も 事 業 を 継 続 し て い き た い 。							

1-1 ふるさとを愛するまちづくり

ふるさとを知り、大切にできる機会の充実、ふるさとへの誇りと愛着の醸成を図るとともに、幼児及び小・中学校における英語教育や国際理解といった特色ある教育を推進し、地域の担い手を育成します。

青洲高校と民間、町等との協働により、生徒たちが本町のまちづくりに参画する機会や地域住民と連携しながら高校を地域の核とするための環境を整備する。

① 青洲高校との協働による事業の推進（商工観光課商工係）

重要業績評価指標（KPI）：座学と実践授業の開催数							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	6 回	6 回	6 回	8 回	8 回	8 回	10 回
実 績 値	7 回						
取 組 の 評 価	コロナ禍において授業回数が少なかったものの、10月からフィールドワークを開催し、峡南地域学を通じ、町の地場産業を知ってもらう良い機会となった。 【実績】 授業：1 回 フィールドワーク：3 班×2 回＝6 回						
今 後 の 方 針	より多くの理解を得られるよう、地域学の内容を充実させ、将来の地場産業に従事したいと思うような学習内容を展開していきたい。						

【施策内容】

生涯学習の拠点となる生涯学習センターを活用した、町立図書館、各種講座の開催、健康増進・生涯スポーツ等による地域交流の拠点づくりなど。

【具体的な事業】

②生涯学習センター活用事業（生涯学習課生涯学習係）

令和2年1月に開館の市川三郷町生涯学習センターを利用した賑わいづくり創出のため、施設の利用頻度を高める取り組みを行う。また、令和5年度までに指定管理者制度を導入し、さらに集客が見込める事業に取り組むための事業者を募集する。

重要業績評価指標（KPI）：年間のべ利用者数							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	15,000 人	15,000 人	15,000 人	20,000 人	20,000 人	20,000 人	20,000 人
実 績 値	23,269 人						
取 組 の 評 価	コロナ禍により、大規模な事業は実施を見合わせたが、コロナ対策に考慮した 1 日当たり数十人規模の事業を展開することにより利用者が予定を上回る結果となった。						
今 後 の 方 針	今後も感染拡大防止措置をとりながら、目標数値を達成できるよう事業を展開していく必要がある。						

1-2 子育てしやすいまちづくり

【概要】

子育て家庭への支援の強化や多様な保育環境を整備するなど、子育て環境の充実を推進するとともに、結婚や出産に対する不安の解消に努めます。

【施策内容】

出会いの場と婚活の推進、出産や子育てに係る費用負担の軽減

【具体的な事業】

① 不妊治療費助成事業（いきいき健康課子育て支援係）

不妊で悩む夫婦が治療を受ける際の経済的負担を軽減するために自己負担額の 1/2（上限 20 万円・通年 5 年間）を助成する。

重要業績評価指標（KPI）：助成対象者への助成率							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
実 績 値	100%						
取組の 評 価	申請のあった全ての対象者へ助成することができた。						
今後の 方 針	今後も対象者が支援を受けられるよう周知をしていき、子育て支援へ繋げていく。						

【施策内容】

出会いの場と婚活の推進、出産や子育てに係る費用負担の軽減

【具体的な事業】

②子育て祝い金支給事業（いきいき健康課子育て支援係）

小学校入学児童の保護者に対し、経済的支援を目的に児童1人当たり2万円の祝い金を支給する。

また多子世帯への子育て支援として、第3子のいる世帯に3万円、第4子以降のいる世帯に5万円を追加支給する。

重要業績評価指標（KPI）：対象世帯への支給率							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
実 績 値	100%						
取 組 の 評 価	小学校の入学に合わせて申請書を配布し、未申請者を除くすべての世帯に支給した。また、未申請者に対しては、通知にて申請勧奨を行い、9月中には全ての対象者へ支給することが出来た。						
今 後 の 方 針	今後も教育委員会と連携し、小学校新入学児童の把握に努め、支給漏れのないように取り組んでいく。子育て支援策として一定の貢献はあるので現状通り事業を継続していくが、今後の町の財政状況によっては、改善や廃止等の検討の余地のある事業であると考える。						

【施策内容】

保育環境の充実、整備などにより共働き夫婦が安心して働けるための支援など。

【具体的な事業】

③ 病後児保育事業（保育課保育係）

病気の回復期にあるが集団保育、通園、通学等が困難な児童を一時的に預かる。

重要業績評価指標（KPI）：受入数／利用希望者数：80％以上							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	80％	80％	80％	80％	80％	80％	80％
実 績 値	－						
取 組 の 評 価	4 月からコロナ感染症対策等により、利用希望がなかった。						
今 後 の 方 針	今後もコロナ禍においても安心して子どもを預けられるように、コロナ対策のガイドラインに基づきながら、保護者の子育てと仕事の両立を支援し、児童福祉の向上を推進していく。						

【概要】

【施策内容】

【具体的な事業】

町の地場産業（和紙、印章）は深刻な後継者不足であるため、商工会、和紙組合、印章組合等と連携し手漉き講習会、手漉き和紙体験、篆刻体験等を実施し後継者育成を図っていく。

重要業績評価指標（KPI）：後継者育成候補者のべ人数（年間）							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	2 名	3 名	3 名	3 名	4 名	4 名	5 名
実 績 値	2 名						
取 組 の 評 価	後継者育成のため現在候補者としている 2 名に実践的指導及び講習会への参加を実施している。						
今 後 の 方 針	来年度は手漉き和紙工房が本格稼働するので、紙漉きの仕事を請け負ったり、イベントを開催するなど後継者が活躍する場を作っていく。また地域おこし協力隊へも募集をかけていく。						

5 ジェンダー平等を推進しよう
 8 豊かながらも持続可能な成長
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 11 住み続けられるまちづくりを
 12 つくって使って減らす
 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

インフラ整備と連動しながら、長い歴史・文化等を持つ本町独自の資源を活用します。
(市川三郷町ファンを増やす。住み良いまち、新たな雇用の創出。)

町外からの移住件数（若者定住促進住宅補助金件数、町宅地分譲件数のいずれも町外からの転入件数）

★数値目標：令和８年度までに、町外からの移住件数 １４０件

年 度	現 状 値 (R2.11)	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	8 件	20 件	20 件	20 件	20 件	20 件	20 件	20 件
実 績 値		22 件						
取 組 の 評 価	「若者定住促進住宅補助金」制度等、定住に繋がる町の PR を積極的にすることにより、目標値を上回ることができた。							
今 後 の 方 針	今後コロナ禍において定住化を図るうえで課題となる点を見つけ、ポストコロナ、アフターコロナを見据えた対応をしていくことが必要となる。							

【概要】

【施策内容】

【具体的な事業】

町では、大切に受け継がれて発展してきた伝統産業と地域に根付き育まれてきた文化を、ふるさと四季の祭りとして継承しています。春は「ぼたんの花まつり」、夏は「神明の花火大会」、秋は「はんこ日本一六郷の里秋まつり」、冬は「大塚にんじん収穫祭」と、町の魅力を大いにPRし、地産地消による農業振興、ふれあいの町づくり推進のため実施しています。

重要業績評価指標（KPI）：神明の花火大会有料観覧座席数							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	6,240 席	6,240 席	11,080 席	11,080 席	11,080 席	11,080 席	11,080 席
実 績 値	—						
取 組 の 評 価	コロナの影響により、大会中止となり実施できなかった。						
今 後 の 方 針	新型コロナウイルス感染防止対策も踏まえながら、年度内から増席計画を入念に立案していきたい。						

【施策内容】

中長期的な観光戦略の策定に向けた研究会の立ち上げ（インバウンド観光や滞在型観光の開発、地域農産物を活かした商品開発）など。

【具体的な事業】

② 観光施設等の整備・活用の推進（商工観光課観光係）

町内には観光、温泉、地場産業等の各施設や四尾連湖、芦川溪谷といった名所、歴史的な建造物、寺社仏閣といった誇れる地域資源がたくさんあります。今後ICTやIoT等を活用した群流解析による観光導線の構築など民間との協働を積極的に展開し、周辺自治体とも連携するなかで多様な観光施設を結ぶ広域的な観光ルートの創設を目指し、交流・関係人口の増加、インバウンドへの積極的な取組を推進します。

重要業績評価指標（KPI）：観光施設の入館者数／年							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	267,400 人	270,450 人	272,500 人	275,700 人	279,800 人	283,600 人	299,500 人
実 績 値	144,110 人						
取 組 の 評 価	コロナの影響により、町内の主な観光施設が5月末、6月上旬まで臨時休館、休園となった。その後も入場制限等感染対策を施しながらの営業となり、入場者数が伸びなかった。						
今 後 の 方 針	今後はコロナの感染状況等を見極めつつ周知、PRや新たなイベントなどを企画していきたい。						

2-2 活力あふれるまちづくり

【概要】

商工業や農林業の振興を図るとともに、地域資源のブランド化を推進することにより賑わう力を強化します。

【施策内容】

地場産業体験をとおして、商工業や農林業の後継者の支援、育成に取り組むとともに、町と商工会等が連携し空き店舗を活用したチャレンジショップの受け入れ運営の支援など。

【具体的な事業】

① 地場産業体験ツアー事業（商工観光課商工係）

和紙、印章の地場産業や特産品の生産者は後継者不足や需要減少により厳しい状況にあります。そのめ町内外の方にツアーを通じて地域資源や特産品の良さをまず知ってもらい、体験していただくなど情報を発信し、後継者の確保や販路拡大に繋げていきます。

重要業績評価指標（KPI）：ツアー開催数							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	5 回	7 回	1 0 回	1 5 回	2 0 回	2 0 回	2 0 回
実 績 値	1 回						
取 組 の 評 価	コロナの影響によりほとんどのツアーが中止となり目標を達成することができなかった。2月にクラフトツーリズムと連携し「手漉き和紙体験ツアー」を実施することが出来た。						
今 後 の 方 針	民間団体である、富士川クラフトツーリズム、マイプロダクト、（一社）Mirai等と官民連携し、ポストコロナを見据えたツアーの開催、周遊観光資源の有効活用を図っていく。						

【具体的な事業】

② 地域商社事業

地方創生、地域の魅力発信と地場産業・特産品の商品販売・販路拡大に繋がる地域商社の支援。地場産業・特産品の販売・販路拡大の業務支援をしていく。

重要業績評価指標（KPI）：商品登録件数							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	1 0 件	2 0 件	3 0 件	5 0 件	7 0 件	9 0 件	1 0 0 件
実 績 値	—						
取 組 の 評 価	民間事業所（一社）Mirai と検討を行ったが、具体的な手法を見出すことが出来なかった。						
今 後 の 方 針	民間事業所と連携し、具体的な手法が見出せるよう検討をおこない、商品選定を進めていく。						

2-3 移住・定住しやすいまちづくり

【概要】

空き家や遊休農地の活用を図るとともに、町を知ってもらい、来てもらい、住んでもらえるための移住・定住の促進を図ります。

【施策内容】

地域おこし協力隊の受け入れ、移住者や移住希望者に対する相談窓口の整備など。

【具体的な事業】

①地域おこし協力隊事業（政策秘書課企画係）

都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として地域で生活し、住民の生活支援、地域活性化、移住・定住支援など各種の地域活動に従事しながら、定住・定着を図る。

重要業績評価指標（KPI）：令和８年度までに４名の隊員の確保							
年 度	令和２	令和３	令和４	令和５	令和６	令和７	令和８
数 値 目 標	１名	－	－	－	－	－	４名
実 績 値	１名						
取 組 の 評 価	５名の方から問い合わせがあり、うち１名の方が地域おこし協力隊員として迎え入れることができた。これには、支援機関である（一社）Miraiと協力し、隊員の疑問・不安等を約２ヵ月にわたりオンライン等を活用し対応した結果、委嘱につなげることが出来た。						
今 後 の 方 針	現在、支援機関として３社が登録しているが、内１社は隊員が確保できていない。来年度中には確保できるよう周知・PRをおこなっていく。						

【具体的な事業】

②若者定住促進住宅補助金事業（政策秘書課企画係）

町外からの移住・定住及び町内からの人口の流出を防ぐことを目的に、町内へ住宅を取得した若者世帯に対し補助金を交付します。

重要業績評価指標（KPI）：令和８年度までに、補助金申請件数のべ２１０件							
年 度	令和２	令和３	令和４	令和５	令和６	令和７	令和８
数 値 目 標	３０ 件	３０ 件	３０ 件	３０ 件	３０ 件	３０ 件	３０ 件
実 績 値	３３ 件						
取 組 の 評 価	中間検証（１０月）の頃は、昨年度と比較して申請件数が低調であった。原因としては、一昨年１０月に消費税が上がった駆け込み需要があり、年度初めの着工が落ち着いたと考えられる。そのため住宅メーカーへチラシを配布するなど PR を行った結果、目標件数を上回ることができた。						
今 後 の 方 針	今年度、住宅メーカーへの PR を行った結果、その PR によって申請（定住）があった。来年度も引き続き PR は行い、さらに広報や HP など町内向けの PR にも力を入れたい。						

2-4 男女がともに活躍するまちづくり

【概要】

男女がともに活躍する社会を目指し、女性や若者の声を反映しやすい社会制度の構築に向けた検討を進めます。

【施策内容】

男女共同参画推進に向けての、審議会等政策決定における女性の比率の引き上げ。また、民間企業と連携し、男性の育児休業等の取得や女性の雇用などを働きかけ、企業の意識改革や町の取り組みに対する理解の促進など。

【具体的な事業】

①男女共同参画推進事業（政策秘書課企画係）

男女共同参画推進委員会を組織し、啓発活動等を実施するなかで、男女がお互いにその人権を認め、自由な活動の選択ができ、誰もがまちづくりに参画していける社会を目指し推進していきます。

重要業績評価指標（KPI）：審議会等における女性の登用比率 20%を目指す							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	17.5%	18.0%	18.5%	19.0%	19.5%	20.0%	20.0%
実 績 値	16.4%						
取 組 の 評 価	今年度開催した男女共同参画推進委員会での勉強会で「組織で個の声は届きにくく、複数いないと影響力がないと」と教わった。このあたりも踏まえて男女共同参画を推進していきたい。						
今 後 の 方 針	来年度は、第4次市川三郷町男女共同参画プランの策定年度になるので、女性が活躍する社会のより一層の推進を盛り込んだ内容としたい。						

3 すべての人に
健康と福祉を



町民が災害に対する不安を軽減でき、災害に対して万全の備えを整えます。
(災害に強く、安心して暮らせるまち)

年 度	現 状 値 (R2.11)	令 和 2	令 和 3	令 和 4	令 和 5	令 和 6	令 和 7	令 和 8
数 値 目 標	未 策 定	策 定	検 証	検 証	検 証	改 訂	検 証	検 証
実 績 値		策 定						
取 組 の 評 価	国土強靱化地域計画を策定するにあたり、事前に説明会を実施するなど国土強靱化地域計画がどのような計画であるのか理解をしてもらい、各課で内容を検討しながら本町の実情に沿った形で計画を立ててもらうことができた。また国土強靱化地域計画検討委員会を設立し、外部からの意見を反映させることにより充実した内容とすることができた。							
今 後 の 方 針	各事業への取り組み、検証等を計画的に実施していく。国の補助金等を積極的に利用できるよう、担当部署の連携が重要となってくる。							

3-1 災害に強いまちづくり

【概要】

防災体制の強化を図るとともに、大規模災害時における復旧、復興のため安全かつ迅速な対応に向けた社会基盤を整備します。また、近年増えている外国人在住者に対する配慮についても検討します。

【施策内容】

自主防災組織の体制づくりや町内の公共施設の耐震化の推進、国や県との連携による土砂災害防止工事や警戒避難体制の整備及び災害廃棄物処理計画など。

【具体的な事業】

① 地域防災減災事業（防災課防災防犯係）

防災に関する正しい知識及び技能を習得し、防災活動を含め、自主防災組織の中心的役割を担う人材を育成するため、市川三郷町地域防災リーダー養成講習を開催し、受講修了者に認定証を交付する。

重要業績評価指標（KPI）：令和８年度までに、のべ 260 人を目指す（毎年 30 人受講）							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	80 人	110 人	140 人	170 人	200 人	230 人	260 人
実 績 値	74 人						
取 組 の 評 価	地域防災リーダー養成講座を６月に予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、９月に延期となり受講者の人数も制限をかけたため目標値には届かなかった。						
今 後 の 方 針	来年度は、感染症予防対策をしっかりと取り組み目標を達成できるように実施する。						

【具体的な事業】

②道路・橋梁整備事業（土木整備課公共土木係）

安全な通行を確保するため、狭あいな道路の拡幅及び歩道等の改良を行い、利用者の安全を図ります。また道路網の整備を行い、広域的な利用が図られ、近年過疎化が進んでいる地域の定住化促進活性化など地域振興を図ります。

重要業績評価指標（KPI）：道路網の整備 全体計画延長 L = 4.5 km のうち 20% の整備							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	0%	1 %	3 %	5 %	8 %	1 4 %	2 0 %
実 績 値	—						
取 組 の 評 価	今年度は、町の実施計画に計画路線を盛り込み、財政課と協議を行ったうえで予算の確保をおこなった。						
今 後 の 方 針	町の実施計画をもとに、事業実施を進めていく。						

【概要】

【施策内容】

【具体的な事業】

町営国保診療所は地域医療を担い、住民が医療に関し安心して地域に暮らし続けることに大きく貢献しています。現医師の継続勤務、新規医師の確保、施設及び医療機器の改修に努めます。

重要業績評価指標（KPI）：開所率現行 80%⇒100%を目指す							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	80%	80%	80%	90%	90%	90%	100%
実 績 値	80%						
取 組 の 評 価	10月に新規医師の採用により、医師8名体制となった。新規医師の確保、充実は達成したものの新規医師に就く患者の確保には時間が必要と思われる。						
今 後 の 方 針	診察所ならびに医師のPR強化に努めたい。						

【施策内容】

町民の健康の増進と心身の健全を図るため、筋力トレーニング等による運動習慣の支援など。

【具体的な事業】

② スポーツ・健康づくりの推進（いきいき健康課健康増進係）

町民の健康・福祉増進と心身全体の健全を、わがまちを、せりやを、体育、スポーツ、レクリエーション及び社会教育の振興を図る事業や各種の施設を、一室に、中心に、事業を、実施し、管理する『ウェルネスシstem』を活用したフィットネスセンターを、開設した。

重要業績評価指標（KPI）：令和８年度までに、利用者数 20,000 人を目指す							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	19,125 人	19,400 人	19,520 人	19,640 人	19,760 人	19,880 人	20,000 人
実 績 値	10,220 人						
取 組 の 評 価	新型コロナの影響下の休館により、リピーターの減少やガイドラインの厳守により利用人数制限等のハードルがあった。しかし、目標値に近づけるため、安心して施設を利用できるよう感染症対策を徹底。健診後結果説明時にチラシを配布したり、町主催の健康教室も実施。その結果月別 1 日平均値の前年比は、再開した 6 月の 29.2% から 2 月は 70.6% まで回復した。						
今 後 の 方 針	令和 2 年度末（R3 年 3 月）には、利用者が前年度比 53.8% まで回復した。感染症予防対策を徹底しながら、利用者の拡大のための検討をおこなっていく。						

3-3 快適に暮らしやすいまちづくり

【概要】

歩道や道路網のみならず、町民の生活環境の充実を図るとともに、安心して暮らしやすい生活基盤を整備します。

【施策内容】

町民の利便性向上に向けた生活密着道路の整備

【具体的な事業】

①狭あい道路拡幅整備事業（まちづくり推進課都市計画係）

道路に面する土地のセットバックにより狭あい道路を解消し、安全・安心な住環境を確保します。

重要業績評価指標（KPI）： 相談件数 15 件／年を確保する							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	15 件	15 件	15 件	15 件	15 件	15 件	15 件
実 績 値	10 件						
取 組 の 評 価	申請に応じて事業を実施しているが、住宅の建築時等にセットバックに係る費用の一部を助成する制度であるため、建築のタイミングもあるなど目標値の設定には課題が残る。						
今 後 の 方 針	制度を広く周知し、隣接、対側の土地所有者にも協力を依頼し、連続して事業を進めていけるよう取り組む。						

【施策内容】

超高齢化社会に対応した移動手段の確保や公共交通機関網の確保に向けて JR 東海や民間タクシー業者等と連携した JR 身延線、コミュニティバスの向上を図ります。

【具体的な事業】

②公共交通機関等の充実（政策秘書課企画係）

地域の需要・実情に応じた公共交通等の確保や利便の増進を図ることを目的に、地域公共交通会議の設置や JR 身延線市川大門駅に切符販売員を配置する。また Society5.0 の実現に向けた新たな公共交通手段の検討を行います。

重要業績評価指標（KPI）：令和８年度までに、市川大門駅発券件数を令和元年度（46,674枚）比5％アップ							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	47,140 枚 （1％）	47,607 枚 （2％）	48,074 枚 （3％）	48,540 枚 （4％）	49,007 枚 （5％）	49,007 枚 （5％）	49,007 枚 （5％）
実 績 値	22,699 枚						
取組の 評 価	発券数UPのために、4月に開校した青洲高校生、市川高校生に向けチラシを配布した。さらに隣町の富士川町広報に案内を掲載したが、新型コロナウイルス感染拡大により電車利用者が激減し、それに伴い市川大門駅での切符取扱いも激減した。						
今後の 方 針	新型コロナウイルスの影響はまだ暫く続くと考えられるので、利用者の減少はやむを得ない。青洲高校が2年目に入り、昨年に引き続き生徒向けのチラシを作成し、定期券の購入促進を図りたい。						

8 最も多い
経済活動



町の活気を維持するように、本町の魅力を外部に発信し、本町のファンを増やします。
(町民や民間企業と協働し連携する将来を見据えたまちづくり)

ふるさと納税寄付者数

年 度	基準値	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	7,073	12,000	13,000	14,000	15,000	16,000	17,000	18,000
実 績 値		14,554						
増 加 人 数	0	7,481						
取 組 の 評 価	ふるさと納税の HP 上での返礼品の見せ方や新規返礼品を増やすなど、寄付者に飽きられない工夫により寄付者数を大幅に増やすことができた。							
今 後 の 方 針	ふるさと納税の特設ページを開設し、WEB 広告を活用してより効果的な PR を実施していく。							

4-1 近隣市町村等と連携するまちづくり

【概要】

近隣市町村と広域行政を推進するとともに、関係人口の創出に向けた民間等との連携や協力体制の促進を図ります。

【施策内容】

企業版ふるさと納税等を活用した企業と連携し、地域の活性化拠点となる地区の整備や体制づくりの推進など。

【具体的な事業】

①三珠地区活性化拠点整備事業（政策秘書課企画係）

特に大塚地区の人口対策を重要課題と捉え、民間企業と協働するなかで経費削減を念頭におき民間資金を活用した整備を目指します。またみたまの湯の周辺整備を含め宿泊棟の建設を当面の目標とし、専門企業の招致を行います。

重要業績評価指標（KPI）							
令和８年度までに、三珠地区への若者世帯の転入者のべ 56 世帯 168 人増加を目指す							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	8 世帯 24 人／年	8 世帯 24 人／年	8 世帯 24 人／年	8 世帯 24 人／年	8 世帯 24 人／年	8 世帯 24 人／年	8 世帯 24 人／年
実 績 値	10 世帯 36 人／年						
取 組 の 評 価	三珠地区拠点整備のため昨年度、民間資金活用調査費補助事業を活用し、当該地の活用策を調査したところ、社会資本整備総合交付金を活用した優良賃貸住宅整備が妥当との結果を得た。この結果を受けて今年度より準備を進めている。また並行して町の若者定住促進住宅補助金制度を活用し転入者の増加を図っている。						
今 後 の 方 針	県内初の PFI 制度を活用した地域優良賃貸住宅を整備すべく各関係機関と協力しながら進めていく。						

【施策内容】

ゆかりの会「りんどう」やふるさと納税等による関係人口の創出。

【具体的な事業】

②ふるさと納税推進事業（政策秘書課ふるさと納税係）

ふるさと納税制度を開始してから10年が経過したなかで、今後は「GCF」や「企業版ふるさと納税制度」といった制度を活用し町が実施する事業を展開していきます。

重要業績評価指標（KPI）：令和８年度までに、寄付者総数 18,000 人を目指す							
年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
数 値 目 標	12,000 人	13,000 人	14,000 人	15,000 人	16,000 人	17,000 人	18,000 人
実 績 値	14,554 人						
取 組 の 評 価	国の押印廃止発言により印章の申し込みに大きな影響が出た。新型コロナの影響もあり全体的に申し込みが伸び悩んだ。本格的な組織として「ふるさと納税」に取り組む自治体が目立ってきており、そちらへ寄付者が多く流れている。						
今 後 の 方 針	本格的な組織構成によりふるさと納税に取り組む自治体が増えてきたなか、寄付者を獲得するためには、より多く広告を行い、本町を知ってもらう必要がある。						

4-2 将来を見据えたまちづくり

【概要】

地域の将来を担う子どもたちの確かな未来に向けて健全な財政運営による安定的な行政運営を堅持します。

【施策内容】

「山梨県物流等基本計画」の重点促進区域にも指定されている中部横断道沿い（六郷インターチェンジ周辺）である岩間、宮原地区での企業誘致、雇用に向けた基本計画の策定や環境の整備など。

【具体的な事業】

① 六郷インターチェンジ周辺活性化事業（政策秘書課企画係）

六郷 IC 周辺の整備は、合併後の人口減少の大きい六郷地区にとって重要課題ととらえており、「山梨県物流等基本計画」においても重点促進区域に指定されていることから、県農政・産業立地等部局へ積極的な働きかけを行いながら、休業している農工団地跡地の活用をはじめ、その周辺の遊休している農地について民間企業と協働するなかで、経済削減を念頭におき民間資金を活用した整備を目指します。

重要業績評価指標（KPI）：令和８年度までに、企業誘致２社を目指す							
年 度	令和２	令和３	令和４	令和５	令和６	令和７	令和８
数 値 目 標	大手デベロッパーと事業にかかわる基本合意を交わす。	大手デベロッパーと事業にかかわる業務契約を交わす。	開発事業 実施	⇒	⇒	⇒	企業２社の 誘致
実 績 値	—						
取組の 評 価	第２次総合計画策定後、平成２９年度よりデベロッパーやコンサルなどと協議を進めているが、未だ具体的な方針が出せない状況である。更に近年の水害等を受けハザードマップの浸水想定エリアは今後の開発に大きな問題となる恐れがある。						
今後の 方 針	用地に関する問い合わせもあるので、引き続きデベロッパーや建設業者と協議を続けていく。						